

受験番号					
1	2	3	4	5	6

4枚中1枚目

化学解答用紙

(総合理工学部物質化学科)

コード 3 7	得 点 8	1	2	3	4			
		11	12	14	15	17	18	20

問 1	ア 蒸発	イ 凝縮	ウ 気液平衡(蒸発平衡)
	エ 飽和蒸気圧	オ 蒸気圧 降低	

問 2	記号 (1)	
	理由 液体が残っているので、 P_2 も P_1 と同様に T[K]での飽和蒸気圧である	

問 3	過程 物質Sは一部液体のままで温度も一定なので、圧力は P_1 [Pa]である。 2.0×10 ⁵ [Pa]の空気が V [L]の容器から、2V[L]の容器に入るとからボンベの法則により空気の分圧($P_{\text{空気}}$)求めよ。 $2.0 \times 10^5 \times V = P_{\text{空気}} \times 2V$ $P_{\text{空気}} = 1.0 \times 10^5$ [Pa] 全圧 = $P_1 + 1.0 \times 10^5$ [Pa]	答 $P_1 + 1.0 \times 10^5$ Pa
-----	--	------------------------------------

問 4	過程 物質S[m(g)]を $V+9V$ [L]の容器に入れて、温度をT[K]にした時、ちょうど液体がなくなり全て気体となたので飽和蒸気圧 P_1 を示すことになる。 気体の状態方程式より $P_1 \times 10V = \frac{m}{M} \times R \times T$ $m = \frac{10MP,V}{R,T}$	答 $\frac{10MP,V}{R,T}$ g
-----	--	--------------------------------

問 5	記号 (ア)	
	理由 不揮発性物質が溶質となつたことで蒸気圧低下があこる。 そのため気体として存在しているSの質量も少なくなる。	

採点欄	
-----	--

受験番号					
1	2	3	4	5	6

4枚中2枚目

化学解答用紙

(総合理工学部物質化学科)

問 1	計算の過程 $\text{モル濃度(mol/L)} = \frac{\text{硝酸銀の物質量(mol)}}{\text{溶液の体積(L)}} = \frac{1.3600}{0.200} \text{ mol/L} = 0.0400 \text{ mol/L}$	答 4.00×10^{-2} mol/L
問 2	沈殿 A が生じたイオン反応式 $\text{Ag}^+ + \text{Cl}^- \rightarrow \text{AgCl}$	沈殿 A の色 (1)
	沈殿 B が生じたイオン反応式 $2\text{Ag}^+ + \text{CrO}_4^{2-} \rightarrow \text{Ag}_2\text{CrO}_4$	沈殿 B の色 (4)
問 3	滴下前 0.12 mL	滴下後 15.10 mL
問 4	計算の過程 $4.00 \times 10^{-2} \text{ mol/L}$ の硝酸銀の滴下量 $= 15.10 - 0.12 = 14.98 \text{ mL}$ $\text{Ag}^+ + \text{Cl}^- \rightarrow \text{AgCl}$ より 1 mol の Ag^+ があれば 1 mol の Cl^- があり、1 mol の NaCl があることになる。 Ag^+ の物質量を求める。 $4.00 \times 10^{-2} \times \frac{14.98}{1000} = 5.992 \times 10^{-4} \text{ mol}$ NaCl の重さ(?)を求める $58.5 \times 5.992 \times 10^{-4} = 0.0351 \text{ g}$ 湖水 10.00 mL の重さは $10.00 \times 1.0 = 10 \text{ g}$ $\frac{0.0351}{10} \times 100 = 0.35\%$	答 0.35 %
問 5	pH が 6 より小さい場合 $2\text{CrO}_4^{2-} + 2\text{H}^+ \rightarrow \text{Cr}_2\text{O}_7^{2-} + \text{H}_2\text{O}$ の反応となり、クロム酸イオンがニクロム酸イオンに変化するため	
	pH が 10 より大きい場合 $2\text{Ag}^+ + 2\text{OH}^- \rightarrow \text{Ag}_2\text{O} + \text{H}_2\text{O}$ の反応となり、酸化銀 Ag_2O の沈殿が生成する。	
問 6	実際の滴下量よりも気泡の体積分大きな値となる。 そのため塩分濃度は実際の値よりも大きな測定値となる。	

採点欄	
-----	--

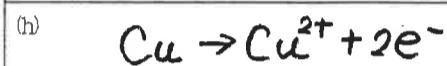
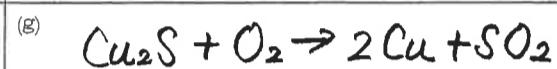
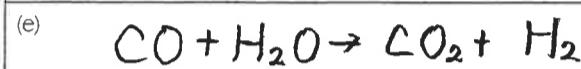
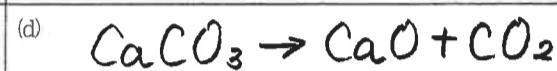
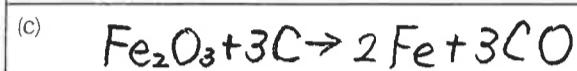
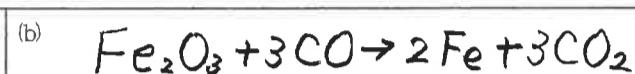
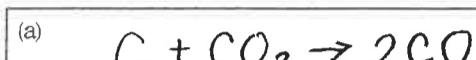
受験番号					
1	2	3	4	5	6

4枚中3枚目

化学解答用紙

(総合理工学部物質化学科)

問 1



問 2

Ag や Au は Cu よりもイオン化傾向が小さい為、酸化されず、イオンにならず 単体として陽極泥となる。

問 3

計算の過程

$CuFeS_2 = 63 + 56 + 32 \times 2 = 183$

直方体の体積を求める

$5.0 \times 10^{-8} \times 5.0 \times 10^{-8} \times 1.0 \times 10^{-7} = 2.5 \times 10^{-22} \text{ cm}^3$

密度 = $\frac{183 \text{ g/mol}}{6.0 \times 10^{23} \text{ mol}} \times 4 = 4.88 \div 4.9 \text{ g/cm}^3$

答

4.9

g/cm³

問 4



問 5

計算の過程 由4の式より 1molの $CuFeS_2$ から SO_2 は1.5 mol 発生する。1molの $CuFeS_2$ は183gであるから SO_2 は 1.50 mol ある。気相に存在する SO_2 のモル数を X mol とする

$X = \frac{2.4 \times 10^2}{24 \times 10^3} = 0.010 \text{ mol}$

$SO_2 = 64 \text{ g} \quad 64 \times (1.50 - 0.01) = 95.36 \div 95.4 \text{ g}$

答

95.4

g

問 6

計算の過程 溫度は20°Cで、100gの水に SO_2 は 11g 溶ける。すなはち水の量を x とすると

$\frac{\text{溶けた } SO_2 \text{ の量 (g)}}{\text{水の量 (g)}} = \frac{11}{100} = \frac{95.36}{y}$

$y = 866.9 \div 867 \text{ g}$

答

867

g

採点欄

受験番号					
1	2	3	4	5	6

4枚中4枚目

化学解答用紙

(総合理工学部物質化学科)

4

問1

ア

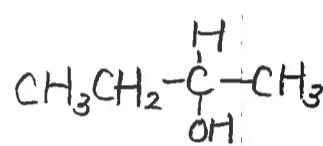
還元

イ

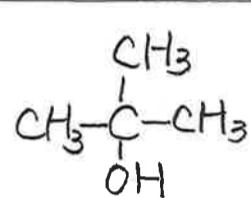
酸化

問2

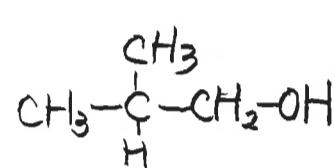
A



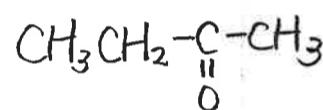
B



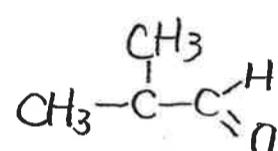
C



E



F



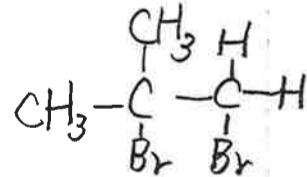
問3

Dはファンデルワールス力だけの分子間力であるか、A,B,Cは極性基のヒドロキシ基の間で水素結合が形成されるため分子間の引力は大きくなるため

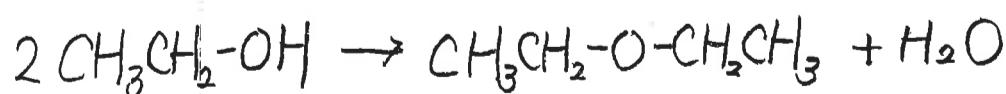
問4

酸化鉄(I)

問5



問6



採点欄